

Souvenir

～マリンバとピアノの協奏曲の夕べ～

私、加藤静子の長年の夢であったプロのオーケストラとの自作の共演。

今宵、最高峰のメンバーが魅せる協奏曲の世界。



加藤 静子

Shizuko Kato

私は、マリンバという楽器の普及に携わる為、長きに渡り数々のマリンバ曲の演奏、そして編曲、作曲を行ってきました。

本日、演奏されるトリオの曲は「きょうのお料理」のテーマ音楽を演奏したジーベック・マリンバ・トリオ(安倍圭子、加藤静子、卜部茂子)の為に、シンセサイザーの故・富田勲氏が編曲し、私がオーケストレーションした作品です。

そして、沓野勢津子氏によって初演される「マリンバ協奏曲～Souvenir～」は、近年の難しい曲ではなく、誰にでも演奏できるような、また美しく心に響くような旋律の協奏曲です。

私にとって長年の夢であったプロオーケストラとの共演は、上記のマリンバ作品と、私の演奏会に何度もゲスト出演して下さった佐野隆哉氏のピアノ協奏曲の贅沢な夜になるでしょう。

加藤静子

《マリンバ&オーケストラ》マリンバ:沓野勢津子 Setsuko Kutsuno

加藤静子 作曲:マリンバ協奏曲～Souvenir～(世界初演)

Shizuko Kato: Concerto for Marimba ~Souvenir~

《ピアノ&オーケストラ》ピアノ:佐野 隆哉 Takaya Sano

S.ラフマニノフ 作曲:ピアノ協奏曲第3番 二短調 Op.30

Sergei Rachmaninoff: Piano Concerto No.3 Op.30

《マリンバトリオ&オーケストラ》

マリンバトリオ:浜まゆみ 張愛始 加納三栄子

Mayumi Hama Aeroung Jang Mieko Kano

J.シュトラウス2世 作曲:トリッチ・トラッチ・ポルカ Op.214

Johann Strauss II: Tritsch-Tratsch-Polka Op.214

J.ヴェイヴォダ 作曲:ビヤ樽ポルカ

Jaromír Vejvoda: Beer Barrel Polka

G.ディニク 作曲:ホラ・スタッカート

Grigoraș Dinicu: Hora staccato

指揮者:曾我 大介

Conductor: Daisuke Soga

管弦楽:東京フィルハーモニー交響楽団

Orchestra: Tokyo Philharmonic Orchestra

主催:加藤静子マリンバ教室 後援:日本マリンバ協会 制作:株式会社キスベース、オフィス山根

10/17 2025
[金]

19:00開演 18:15開場

東京オペラシティコンサートホール

一般 ¥4,000 / 学生 ¥3,000

チケット取扱:オペラシティチケットセンター 03-5353-9999

チケットぴあ <https://t.pia.jp/> (Pコード:305-106)

楽天チケット <https://r-t.jp/classics>

お問合せ:オフィス山根 contact@officeyamane.net

Souvenir

～マリンバとピアノの協奏曲のタベ～



加藤 静子

Shizuko Kato

幼少の頃よりマリンバを始める。都立三田高校二年生の時、NHK洋楽オーディションに合格し、NHKのラジオ放送に出演。高校三年生の芸術祭の折、N響の伴奏でデブイネルワイゼンを演奏。日本マリンバ協会特別会員。マリンバを故・朝吹英一氏に師事。マリンバフェスティバルに数回出演。その後、マリンバの協奏曲を作曲したいという願望があり、国立音楽大学作曲科に入学。自作の卒業作品である「マリンバ協奏曲第1番」を初演。作曲を故高田三郎氏、故島岡譲氏、深川甫氏、内門卓也氏に師事。音大卒業の年、世界的に活躍中の安倍圭子氏等と共に、ジーベック・マリンバ・トリオを結成し、シンセサイザー作曲家として有名な故・富田勲氏の編曲、作曲を中心にラジオ、NHKテレビ、ステージ、レコーディング等で活躍。また後進の指導にもあたり、毎回多彩な分野からゲストを迎え、門下生とマリンバの定期演奏会を開催。自作のマリンバ協奏曲一番は「慶応ワグネルソサエティオーケストラ」「星の王子さま」との共演で門下生達が演奏。2008年より「マリンバ・リサイタル・シリーズ」を企画し、6回のリサイタルを行った。



マリンバ: 杓野 勢津子 (マリンバ協奏曲ソリスト)

Marimba: Setsuko Kutsuno

京都市立芸術大学音楽学部を首席で卒業。同時に音楽学部賞・京都音楽協会賞受賞。(公財)ローミュージックファンデーション奨学生としてボストン音楽院へ留学、ディプロマ科マリンバ専攻卒業。イタリアPAS国際打楽器コンクールマリンバ部門第1位。南カリフォルニアマリンバコンクール優勝。第31回日本管打楽器コンクールマリンバ部門第1位。文部科学大臣賞・東京都知事賞受賞。これまでに東京シティフィル管弦楽団、札幌交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団とマリンバ協奏曲をソリストとして協演。(株)おろぎ社アーティスト。札幌大谷大学芸術学部音楽学科非常勤講師。京都市立芸術大学音楽学部非常勤講師を経て、現在 京都堀川音楽高校マリンバ非常勤講師。打楽器・マリンバを奥田有紀、檀谷睦子、山本毅、坂上弘志、小森邦彦、ナンシー・ゼルツマン、布谷史人の各氏に師事。2025年よりOsaka Shion Wind Orchestra打楽器奏者。



ピアノ: 佐野 隆哉 (ピアノ協奏曲ソリスト)

Piano: Takaya Sano

都立芸術高校、東京藝術大学を経て同大学院修士課程を修了。2006年、日本人男性として初めてパリ国立高等音楽院第三課程研究科からの入学を許可され、2008年に修了。併せて2010年・室内楽科を最優秀で卒業。これまでにピアノを中野万里子、山城浩一、三井美奈子、松本明、ジャック・ルヴィエの各氏に、室内楽をグリア・オヴォラ氏に師事。日本音楽コンクール第2位入賞を始めホセ・ロカ国際第2位、ロン・ティボー国際第5位及び聴衆賞、特別賞等、国内外の国際コンクールで入賞。ショパン国際コンクール・ディプロマ受賞(ポーランド・10年)。これまでにソリストとして、フランス国立管弦楽団、NHK交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団等々と共演。現在、国立音楽大学及び同大学院、都立総合芸術高校にて後進の指導にもあたっている。平成16年度青梅市芸術文化奨励賞受賞。第3回グラチア音楽賞受賞。CD「DANZA」[クロイツァーの記憶(レコード芸術準特選盤)]、[ドゥーズ・エチュード(レコード芸術特選盤)]、2023年には「ピアノ作品にみる」[山田耕柞ルネサンス]をリリースしレコード芸術特選盤に選ばれた。HP: takaya-sano.com



©Shinichiro Saigo

マリンバ: 浜 まゆみ (マリンバトリオソリスト)

Marimba: Mayumi Hama

第2回世界マリンバコンクール2位。東京交響楽団、San Francisco Chamber Orchestra等との共演、国際打楽器芸術協会コンベンション(アメリカ)、ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン(東京、新潟)にて演奏など国内外の数々のフェスティバルに出演。また演奏の傍でアメリカ、アジアの大学等にてマスタークラス開催など幅広く活躍。(公財)ソニー音楽財団「こどものためのクラシック」登録アーティスト、(一財)地域創造公共ホール音楽活性化支援事業アーティスト、YAMAHAアーティスト。桐朋学園大学を首席卒業、同研究科修了。アメリカシガン大学 大学院留学。



マリンバ: 張 愛始 (マリンバトリオソリスト)

Marimba: Aeroung Jang

桐朋学園大学音楽学部打楽器科マリンバ専攻研究科修了。2018年 平昌冬季オリンピックで、韓国初の閉会式国歌の単独演奏を行う。韓国打楽器協会、モンゴル国立音楽大学より感謝状を授与。第10回安倍圭子国際マリンバアカデミー プレミアムコンサートで「ザ・ウェーブ インプレッションズ」安倍圭子氏と日本初演。2011年、2012年、2016年、2018年には桐朋学園大学で招聘講師を務め、日本以外にもヨーロッパ、米国・アジアでマスタークラスやコンサート等、幅広く活躍。YAMAHAアーティスト。



マリンバ: 加納 三栄子 (マリンバトリオソリスト)

Marimba: Mieko Kano

愛知県立芸術大学卒業。第3回ベルギー国際マリンバコンクールデュオ部門において、第2位。併せて特別審査員賞である安倍圭子賞受賞。ベルギー、スイスの国際マリンバフェスティバルに招聘されデュオコンサートを行うほか、国内外の数多くのコンサートに出演。「2marimba & piano」のメンバーとしても、全国各地で数多くのコンサートに出演し、さまざまなメディアに取り上げられている。大垣市民大賞受賞、大垣市交流大使を務める。岐阜県立加納高等学校音楽科非常勤講師。YAMAHAアーティスト。



©RoZa Zah

指揮者: 曽我 大介

Conductor: Daisuke Soga

ブザンソン、コンドラシンの二大指揮者コンクール第1位。以降、ベルリン響ベートーヴェン「第九」、日・独・ルーマニア共同プロジェクト《ベートーヴェン「第九」初演200周年記念公演》、ルーマニア・ブラショフ・オペラで「椿姫」やモーツァルトのダ・ポンテ三部作を指揮するなど世界各地で活躍を続けている。ルーマニア国立放送響首席客演指揮者、大阪シンフォニー響音楽監督などを歴任。東京ニューシティ管弦楽団とは2005年から2022年3月まで17年にわたり首席指揮者、正指揮者等として信頼関係を築き、楽団の発展に大きな足跡を残した。海外では特にルーマニアのオーケストラとは縁が深く、2017年には長年活動を共にしているブラショフ・フィル日本公演の指揮者としてこのツアーを大成功に導いた。世界各地の音楽祭出演や講習会の講師、コンクール審査員、作曲家としても活躍中。『ベートーヴェンのトリセツ』、『ベートーヴェン交響曲第9番終楽章(改訂新版)』(いずれも音楽之友社)などベートーヴェンに関する著作多数。ルーマニアと日本の友好への功績で令和3年度外務大臣表彰を受賞。ルーマニア・ブラショフ市とブラジル・ロンドリーナ市名誉市民。オフィシャルホームページ www.soga.jp/